第9号様式 その1　　（表）

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	町田市教育委員会 教育長 坂本 修一
事業者番号	A 0 9 5 2

2 報告する事業所等の全体の状況(2021年度の状況)

条例第8条の23第1項報告事業所数	67	事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	5,597	kl
条例第8条の23第2項報告事業所数	0	事業所	原油換算エネルギー使用量の合計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	10,816	t

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	□	義務提出事業所等	■	全事業所

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
合計二酸化炭素排出量	10,306.00	10,289.00	9,924.00	10,050.00	10,816.00	t
合計延床面積	496,650.28	493,656.40	490,395.78	496,945.91	513,612.21	㎡
合計原単位	20.75102	20.84243	20.23671	20.22352	21.05868	kg-CO_2/㎡

平均合計二酸化炭素排出量削減率	-1.21	%
平均合計原単位改善率	-0.36	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー利用事業所数	12	事業所
再生可能エネルギー利用事業所率	17.91	%

7 評価結果

地球温暖化対策の取組に係る評価	——	ランク

（日本産業規格A列4番）

8　実績年度の目標達成の状況

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

9　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■	有	□	無

合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他	特記事項に内容を記載	

10　地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1

11　事業者としての取組

取組方針	各市立小・中学校ごとのエネルギー使用量の把握と、それをふまえた運用改善を中心とした省エネの取組みについての学校への周知、及び取組み状況の確認を行っている。

	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備の状況	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A105	取組内容や点検体制の定期的改善
	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A108	組織横断的な推進体制の整備
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A109	都などの無料の相談機関の利用
			A110	外部専門家への相談依頼の実施
			A114	温暖化対策優良事例の情報収集

12　特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	生涯学習センター
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 0 3
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 1 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　原町田6－8－1
事業所等の延床面積	2,676.83 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 134	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 256	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 257	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 95.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	25,644.4	45.00	1,154.0	0.0136	57.5
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	407,370.0	9.97	4,061.5	0.4890	199.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,215.5		⑮ 256.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,630.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,630.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C510	その他設備の不使用時の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。事務所の職員不在時の消灯（エリアごと）を行います。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	町田市民文学館
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 0 4
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 1 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　原町田4－16－17
事業所等の延床面積	2,153.59 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 2　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 91	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 179	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 179	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 83.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	4,834.2	45.00	217.5	0.0136	10.8
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	176,939.0	9.97	1,764.1	0.4890	86.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	167,590.0	9.28	1,555.2	0.4890	82.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,536.9		⑮ 179.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	830.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	830.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C510	その他設備の不使用時の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	中央図書館
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 0 5
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 1 3　区市町村名 東京都町田市 町名番地以下 原町田3－2－9
事業所等の延床面積	5,968.49 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 2　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 118	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 225	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 226	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 37.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	245.5	45.00	11.0	0.0136	0.6
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	460,419.0	9.97	4,590.4	0.4890	225.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,601.4		⑮ 225.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,974.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,974.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
		A501	ビル所有者の対策や要請に協力		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
				CB11	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。館内外の照明数を減らし、白熱球は徐々にLED電球に変えています。クールビズを徹底します。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	さるびあ図書館
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 0 2
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 2 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　中町2－13－23
事業所等の延床面積	1,318.12 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 2　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 33	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 63	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 63	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 47.7	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	23.2	45.00	1.0	0.0136	0.1
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	130,763.0	9.97	1,303.7	0.4890	63.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,304.8		⑮ 64.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	570.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	570.0			0.4000	0.2
合　計									⑯ 0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C104	採光を利用した消灯の実施
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C113	中間期における外気冷房の実施
				CB46	受電力率の把握・記録
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	つくし野中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 0 7
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 0 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　南つくし野2－14－2
事業所等の延床面積	7,812.83 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 64	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 122	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 124	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 15.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	10,390.6	45.00	467.6	0.0136	23.3
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	147.0	36.70	5.4	0.0185	0.4
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	202,959.0	9.97	2,023.5	0.4890	99.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,496.5		⑮ 122.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,144.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,144.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	つくし野小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 0 8
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 0 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　つくし野2－21－11
事業所等の延床面積	6,018.08 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 127	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 131	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 21.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	21,652.1	45.00	974.3	0.0136	48.6
	その他（ガソリン）		□	L	145.0	34.60	5.0	0.0183	0.3
	その他（灯油）		□	L	174.0	36.70	6.4	0.0185	0.4
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	160,799.0	9.97	1,603.2	0.4890	78.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,588.9		⑮ 128.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,505.0			0.2660	1.7
	公共下水道		□	m^3	6,505.0			0.4000	2.6
合　計									⑯ 4.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB05	昼休み時の消灯の実施
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB08	温度計等による室温の把握と調整
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	CB11	予熱・予冷時の外気導入の停止
				CB28	利用状況に応じた空調の設定変更
				CB43	操業状態に応じた運転・停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	七国山小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 0 9
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 7 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　山崎町1314－2
事業所等の延床面積	7,597.34 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 99	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 189	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 193	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 24.8	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	25,011.2	45.00	1,125.5	0.0136	56.1
	その他（ガソリン）		□	L	21.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	222.0	36.70	8.1	0.0185	0.6
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	271,586.0	9.97	2,707.7	0.4890	132.8
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,842.1		⑮ 189.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,598.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,730.0			0.4000	2.7
合　計									⑯ 4.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A208	組織横断的な推進体制の整備
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB05	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	三輪小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 1 0
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 5 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　三輪町330－1
事業所等の延床面積	6,357.34 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 71	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 143	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 148	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 22.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,319.5	45.00	599.4	0.0136	29.9
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	84.0	36.70	3.1	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	11,621.4	50.80	590.4	0.0161	34.9
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	159,975.0	9.97	1,595.0	0.4890	78.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,787.8		⑮ 143.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,706.0			0.2660	2.0
	公共下水道		□	m^3	7,706.0			0.4000	3.1
合　計									⑯ 5.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E136	デマンドコントローラの設置
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	南つくし野小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 1 1
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 0 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　南つくし野2－4－8
事業所等の延床面積	7,335.60 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 82	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 157	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 162	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 21.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,984.6	45.00	629.3	0.0136	31.4
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	100.0	36.70	3.7	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	256,633.0	9.97	2,558.6	0.4890	125.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,191.6		⑮ 157.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,330.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	8,330.0			0.4000	3.3
合　計									⑯ 5.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A216	所内会議・研修会等で報告
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	CB09	空室・不在時等の空調停止
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。①待機電力を削減する。（勤務終了後は，パソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）②可能な消灯：休み時間は，外遊びを奨励し，校舎内点灯を控える。放課後は，児童を教室に残らせず，各教室内，教室前廊下は消灯する。③間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	南中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 1 2
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 0 0 1 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　金森3－27－1
事業所等の延床面積	11,380.82 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 186	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 356	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 361	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 31.2	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	45,141.8	45.00	2,031.4	0.0136	101.3
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	77.0	36.70	2.8	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	107.6	50.80	5.5	0.0161	0.3
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	520,643.0	9.97	5,190.8	0.4890	254.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,231.2		⑮ 356.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,672.0			0.2660	2.3
	公共下水道		□	m^3	8,672.0			0.4000	3.5
合　計									⑯ 5.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB09	空室・不在時等の空調停止
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止		
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	南大谷中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 1 3
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　南大谷985－1
事業所等の延床面積	10,615.86 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 63	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 120	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 121	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 11.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	122.0	36.70	4.5	0.0185	0.3
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	62.0	50.80	3.2	0.0161	0.2
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	245,840.0	9.97	2,451.0	0.4890	120.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,458.7		⑮ 120.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,063.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	2,063.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A208	組織横断的な推進体制の整備
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	CB22	営業前後の客室不要照明の停止
				CB28	利用状況に応じた空調の設定変更
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	南大谷小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 1 4
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　南大谷811－1
事業所等の延床面積	6,718.87 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 80	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 160	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 7	t
	総　計（④=②+③）	④ 167	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 23.8	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	11,120.4	45.00	500.4	0.0136	25.0
	その他（ガソリン）		□	L	70.0	34.60	2.4	0.0183	0.2
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	13,401.5	50.80	680.8	0.0161	40.2
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	194,291.0	9.97	1,937.1	0.4890	95.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,120.7		⑮ 160.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,968.0			0.2660	3.2
	公共下水道		□	m^3	11,968.0			0.4000	4.8
合　計									⑯ 8.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A207	排出状況の整理・分析・提供
		A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C131	出入口等の開口部付近の空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB05	昼休み時の消灯の実施
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	南成瀬中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 1 5
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 4 5　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　南成瀬7－7－1
事業所等の延床面積	7,897.88 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 54	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 103	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 104	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 13.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	2,788.8	45.00	125.5	0.0136	6.3
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	198,944.0	9.97	1,983.5	0.4890	97.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,109.0		⑮ 103.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,348.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,348.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB05	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB22	営業前後の客室不要照明の停止
				CB28	利用状況に応じた空調の設定変更
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。①こまめな消灯を心掛ける。②冷房設定温度を28度に設定する。③授業時等には廊下を消灯する。④複写機使用後は節電モードにする。⑤来客用多機能洋式トイレの不使用時には、便座の蓋を閉める。⑥窓の開閉のみで業務に支障を来たさない場合には、エアコンを使用しない。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	南成瀬小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 1 6
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 4 5　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　南成瀬3－6
事業所等の延床面積	7,379.79 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 57	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 110	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 113	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 14.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	18,952.2	45.00	852.9	0.0136	42.5
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	72.0	36.70	2.6	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	137,696.0	9.97	1,372.8	0.4890	67.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,228.3		⑮ 110.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,379.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,379.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	CB05	昼休み時の消灯の実施
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	南第一小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 1 7
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 0 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　南町田1－10－1
事業所等の延床面積	6,722.95 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 82	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 162	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 167	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 24.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	578.1	45.00	26.0	0.0136	1.3
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	80.0	36.70	2.9	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	11,839.5	50.80	601.4	0.0161	35.5
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	256,226.0	9.97	2,554.6	0.4890	125.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,185.0		⑮ 162.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,102.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	8,102.0			0.4000	3.2
合　計									⑯ 5.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。①空調機の使用は、気温30度以上、冷房設定温度は28℃とする。②児童下校時の執務は、原則として職員室。③こまめな消灯を心がける。④退勤時はPC電源を遮断する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	南第三小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 1 8
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 0 0 1 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　金森東1－2－1
事業所等の延床面積	7,702.72 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 132	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 136	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 17.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	10,206.9	45.00	459.3	0.0136	22.9
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	54.0	36.70	2.0	0.0185	0.1
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	10,751.3	50.80	546.2	0.0161	32.2
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	158,774.0	9.97	1,583.0	0.4890	77.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,591.1		⑮ 133.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,717.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,717.0			0.4000	2.7
合　計									⑯ 4.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB07	空調機スイッチに空調範囲を表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	南第二小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 1 9
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 4 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　成瀬7－11－1
事業所等の延床面積	7,297.67 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 53	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 102	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 105	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 13.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,513.8	45.00	608.1	0.0136	30.3
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	200.0	36.70	7.3	0.0185	0.5
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	147,037.0	9.97	1,466.0	0.4890	71.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,081.4		⑮ 102.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,037.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	5,037.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				C104	採光を利用した消灯の実施
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	南第四小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 2 0
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 1 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　金森東3－21－1
事業所等の延床面積	6,685.03 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 85	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 170	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 175	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 25.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,271.2	45.00	597.2	0.0136	29.8
	その他（ガソリン）		□	L	55.0	34.60	1.9	0.0183	0.1
	その他（灯油）		□	L	234.0	36.70	8.6	0.0185	0.6
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	13,240.2	50.80	672.6	0.0161	39.7
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	204,911.0	9.97	2,043.0	0.4890	100.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,323.3		⑮ 170.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,437.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	8,437.0			0.4000	3.4
合　計									⑯ 5.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	CB05	昼休み時の消灯の実施
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	図師小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 2 1
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 2 0 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　図師町239－19
事業所等の延床面積	9,329.42 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 131	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 251	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 255	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 26.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	44,761.9	45.00	2,014.3	0.0136	100.4
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	80.0	36.70	2.9	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	309,419.0	9.97	3,084.9	0.4890	151.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,102.1		⑮ 252.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,023.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	7,476.0			0.4000	3.0
合　計									⑯ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	C130	エレベータ運転台数の制限
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	CB28	利用状況に応じた空調の設定変更
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	CB31	水栓器具近傍に節水表示
				CB50	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。①廊下・執務室の照明の間引き②こまめな消灯を心がける③便所24時間換気の制限（勤務時間のみに設定）④始業時には、外気を取り入れ室内温度を調整してから空調機を使用する

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	堺中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 2 2
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 2 1 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　相原町752
事業所等の延床面積	9,910.20 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 64	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 123	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 124	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 12.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	532.8	50.80	27.1	0.0161	1.6
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	249,902.0	9.97	2,491.5	0.4890	122.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,518.6		⑮ 123.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,469.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,598.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB08	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB13	中間期における外気冷房の実施
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	CB20	照明下の障害物を定期的に整理
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
				CB50	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	大戸小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 2 3
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 2 1 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　相原町3765－3
事業所等の延床面積	6,758.62 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 59	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 113	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 116	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 16.7	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	20,062.9	45.00	902.8	0.0136	45.0
	その他（ガソリン）		□	L	210.0	34.60	7.3	0.0183	0.5
	その他（灯油）		□	L	286.0	36.70	10.5	0.0185	0.7
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	137,405.0	9.97	1,369.9	0.4890	67.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,290.5		⑮ 113.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,950.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,950.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB50	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	大蔵小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 2 4
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 6 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　大蔵町286
事業所等の延床面積	7,755.33 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 78	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 156	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 161	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 20.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（ガソリン）		□	L	21.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	15,493.4	50.80	787.1	0.0161	46.5
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	224,517.0	9.97	2,238.4	0.4890	109.8
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,026.2		⑮ 156.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,176.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	8,176.0			0.4000	3.3
合　計									⑯ 5.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB13	中間期における外気冷房の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	小山ヶ丘小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 2 5
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 2 1 5　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　小山ヶ丘5－37
事業所等の延床面積	11,277.03 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 142	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 272	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 7	t
	総　計（④=②+③）	④ 279	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 24.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	30,902.0	45.00	1,390.6	0.0136	69.3
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	88.0	36.70	3.2	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	414,419.0	9.97	4,131.8	0.4890	202.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,525.6		⑮ 272.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,801.0			0.2660	3.1
	公共下水道		□	m^3	11,801.0			0.4000	4.7
合　計									⑯ 7.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB02	照明スイッチに点灯範囲を表示
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB18	外灯等の点灯時間の季節別管理
				CB29	加熱時間表示等による無駄の抑制
				CB32	食器洗浄機の効率的な使用法表示
				CB33	調理器具等の効率的な使用法表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。
①こまめな消灯を心がける②テレビ・ビデオ等はコンセントを抜く③冷房設定温度を28度にする④通路照明の全面消灯及び一部間引きをする

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	小山小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 2 6
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 2 1 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　小山町944
事業所等の延床面積	7,947.30 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 79	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 160	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 7	t
	総　計（④=②+③）	④ 167	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 20.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	504.0	36.70	18.5	0.0185	1.3
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	18,288.2	50.80	929.0	0.0161	54.8
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	213,216.0	9.97	2,125.8	0.4890	104.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,074.0		⑮ 160.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,459.0			0.2660	3.0
	公共下水道		□	m^3	11,459.0			0.4000	4.6
合　計									⑯ 7.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A207	排出状況の整理・分析・提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	小山田中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 2 7
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 0 2 0 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　小山田桜台1－12
事業所等の延床面積	7,735.49 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 60	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 115	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 116	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 14.8	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	3,612.4	45.00	162.6	0.0136	8.1
	その他（ガソリン）		□	L	21.5	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	210.0	36.70	7.7	0.0185	0.5
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	218,982.0	9.97	2,183.3	0.4890	107.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,354.3		⑮ 115.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,942.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	2,942.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。①こまめな消灯を心がける。②自然採光を利用し、廊下の蛍光灯を間引きする。③クールビズを推進する。④窓の開閉をできるだけ行い室内温度を調整する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	小山田小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 2 9
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 2 0 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　上小山田町614
事業所等の延床面積	6,310.10 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 111	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 114	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 17.5	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（ガソリン）		□	L	95.0	34.60	3.3	0.0183	0.2
	その他（灯油）		□	L	73.0	36.70	2.7	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	10,102.6	50.80	513.2	0.0161	30.3
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	164,299.0	9.97	1,638.1	0.4890	80.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,157.2		⑮ 111.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,645.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,645.0			0.4000	1.9
合　計									⑯ 3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	小川小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 3 0
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 0 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　小川3－10－1
事業所等の延床面積	7,140.40 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 59	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 114	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 117	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 15.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	14,025.2	45.00	631.1	0.0136	31.5
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	80.0	36.70	2.9	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	169,420.0	9.97	1,689.1	0.4890	82.8
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,323.9		⑮ 114.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,250.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,250.0			0.4000	2.1
合　計									⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB09	空室・不在時等の空調停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	山崎中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 3 1
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 7 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　山崎町1445
事業所等の延床面積	8,297.53 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 105	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 106	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 12.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	11,011.2	45.00	495.5	0.0136	24.7
	その他（ガソリン）		□	L	14.5	34.60	0.5	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	152.0	36.70	5.6	0.0185	0.4
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	164,595.0	9.97	1,641.0	0.4890	80.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,142.6		⑮ 105.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,810.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,810.0			0.4000	0.7
合　計									⑯ 1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	山崎小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 3 2
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 5　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　忠生2－15－26
事業所等の延床面積	6,435.68 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 64	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 123	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 127	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 19.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	18,643.9	45.00	839.0	0.0136	41.8
	その他（ガソリン）		□	L	10.0	34.60	0.3	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	166,733.0	9.97	1,662.3	0.4890	81.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,501.6		⑮ 123.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,325.0			0.2660	1.7
	公共下水道		□	m^3	6,325.0			0.4000	2.5
合　計									⑯ 4.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB09	空室・不在時等の空調停止
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	忠生中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 3 3
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 0 0 3 5　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　忠生3－14－1
事業所等の延床面積	11,399.81 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 107	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 206	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 208	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 18.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	34,321.1	45.00	1,544.4	0.0136	77.0
	その他（ガソリン）		□	L	10.0	34.60	0.3	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	145.0	36.70	5.3	0.0185	0.4
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	262,994.0	9.97	2,622.1	0.4890	128.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,172.2		⑮ 206.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,861.0			0.2660	1.0
	公共下水道		□	m^3	3,789.0			0.4000	1.5
合　計									⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	忠生小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 3 4
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 5　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　忠生3－10－2
事業所等の延床面積	7,960.53 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 86	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 164	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 169	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 20.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	20,228.2	45.00	910.3	0.0136	45.4
	その他（ガソリン）		□	L	14.5	34.60	0.5	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	160.0	36.70	5.9	0.0185	0.4
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	242,857.0	9.97	2,421.3	0.4890	118.8
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,337.9		⑮ 164.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,531.0			0.2660	2.3
	公共下水道		□	m^3	8,531.0			0.4000	3.4
合　計									⑯ 5.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB05	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	忠生第三小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 3 5
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 6　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　木曽東3－11－3
事業所等の延床面積	6,729.32 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 81	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 155	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 160	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 23.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	21,230.6	45.00	955.4	0.0136	47.6
	その他（ガソリン）		□	L	10.0	34.60	0.3	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	4.4	50.80	0.2	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	219,480.0	9.97	2,188.2	0.4890	107.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,144.2		⑮ 155.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,793.0			0.2660	2.1
	公共下水道		□	m^3	7,793.0			0.4000	3.1
合　計									⑯ 5.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB28	利用状況に応じた空調の設定変更
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB35	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	成瀬中央小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 3 6
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 0 0 4 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　成瀬2－8
事業所等の延床面積	6,450.52 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 60	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 116	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 6	t
	総　計（④=②+③）	④ 122	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 17.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	15,693.6	45.00	706.2	0.0136	35.2
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	72.0	36.70	2.6	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	165,702.0	9.97	1,652.0	0.4890	81.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,360.9		⑮ 116.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,703.0			0.2660	2.6
	公共下水道		□	m^3	9,703.0			0.4000	3.9
合　計									⑯ 6.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
		A204	取組状況の点検体制の構築	A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB05	昼休み時の消灯の実施
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
				CB35	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	成瀬台中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 3 7
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 4 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　成瀬台2－5－1
事業所等の延床面積	8,461.08 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 54	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 103	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 104	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 12.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	1,610.4	45.00	72.5	0.0136	3.6
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	440.0	36.70	16.1	0.0185	1.1
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	201,045.0	9.97	2,004.4	0.4890	98.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,093.0		⑮ 103.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,606.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,606.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB18	外灯等の点灯時間の季節別管理
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	成瀬台小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 3 8
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 4 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　成瀬台2－5－2
事業所等の延床面積	9,605.98 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 93	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 178	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 183	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 18.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	26,917.5	45.00	1,211.3	0.0136	60.4
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	241,835.0	9.97	2,411.1	0.4890	118.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,622.4		⑮ 178.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,353.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	8,353.0			0.4000	3.3
合　計									⑯ 5.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。・子どもの取組で休み時間や給食時に消灯する週間を設ける。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	木曽中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 3 9
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　木曽西2－4－9
事業所等の延床面積	7,815.77 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 54	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 104	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 105	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 13.3	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	7,314.7	45.00	329.2	0.0136	16.4
	その他（ガソリン）		□	L	36.0	34.60	1.2	0.0183	0.1
	その他（灯油）		□	L	400.0	36.70	14.7	0.0185	1.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	137.6	50.80	7.0	0.0161	0.4
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	176,526.0	9.97	1,760.0	0.4890	86.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,112.0		⑮ 104.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,375.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,375.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A207	排出状況の整理・分析・提供
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。①冷房設定温度を28度にする②こまめな消灯を心がける③帰校時・離席時にはPCの電源を遮断する④出来る限り窓の開閉を行い室内温度の調整をする。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	木曽境川小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 4 0
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　木曽西1－9－1
事業所等の延床面積	7,475.87 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 86	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 165	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 170	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 22.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	30,989.0	45.00	1,394.5	0.0136	69.5
	その他（ガソリン）		□	L	41.0	34.60	1.4	0.0183	0.1
	その他（灯油）		□	L	54.0	36.70	2.0	0.0185	0.1
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	195,783.0	9.97	1,952.0	0.4890	95.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,349.9		⑮ 165.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,259.0			0.2660	1.9
	公共下水道		□	m^3	8,560.0			0.4000	3.4
合　計									⑯ 5.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
				CB05	昼休み時の消灯の実施
				CB07	空調機スイッチに空調範囲を表示
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策			D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	本町田東小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 4 3
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 0 0 3 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　本町田3350
事業所等の延床面積	7,621.46 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 126	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 129	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 16.5	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	25,882.2	45.00	1,164.7	0.0136	58.1
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	140,558.0	9.97	1,401.4	0.4890	68.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,566.8		⑮ 126.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,467.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,467.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C113	中間期における外気冷房の実施
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	町田第一中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 4 5
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 2 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　中町1－27－5
事業所等の延床面積	16,098.75 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 172	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 329	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 333	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 20.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	48,021.5	45.00	2,161.0	0.0136	107.8
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	72.0	36.70	2.6	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	453,149.0	9.97	4,517.9	0.4890	221.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,681.5		⑮ 329.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,128.0			0.2660	1.9
	公共下水道		□	m^3	7,158.0			0.4000	2.9
合　計									⑯ 4.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。2010年度からエネルギー使用の管理を始めました。今年度も環境推進委員、学校保健部、生徒会、事務部と互いに協力し合い、学校全体で省エネ、光熱水費の使用量削減に努めます。①生徒会、整備委員会を中心に、空調機は各クラスエアコン係を決め、ON,OFFの連絡、適切な温度管理等使用量削減に寄与する。②事務、用務部で施設点検をして、支障の無い限り蛍光管を撤去し、またトイレや廊下等消し忘れ等発見、節電に努める。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	町田第一小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 4 6
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 2 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　中町1－20－30
事業所等の延床面積	8,118.92 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 94	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 180	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 185	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 22.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	32,944.6	45.00	1,482.5	0.0136	73.9
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	60.0	36.70	2.2	0.0185	0.1
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	217,310.0	9.97	2,166.6	0.4890	106.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,651.3		⑮ 180.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,461.0			0.2660	2.3
	公共下水道		□	m^3	8,578.0			0.4000	3.4
合　計									⑯ 5.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	町田第三中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 4 7
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　本町田1853
事業所等の延床面積	7,578.96 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 54	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 104	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 105	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 13.7	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	16,900.0	45.00	760.5	0.0136	37.9
	その他（ガソリン）		□	L	14.5	34.60	0.5	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.4	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	135,346.0	9.97	1,349.4	0.4890	66.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,110.4		⑮ 104.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,925.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	2,925.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	町田第三小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 4 8
事業所等の所在地	〒 1 9 2 ― 0 0 3 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　本町田1212
事業所等の延床面積	6,990.91 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 70	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 141	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 145	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 20.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	12,492.1	45.00	562.1	0.0136	28.0
	その他（ガソリン）		□	L	120.0	34.60	4.2	0.0183	0.3
	その他（灯油）		□	L	154.0	36.70	5.7	0.0185	0.4
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	12,305.7	50.80	625.1	0.0161	36.9
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	155,613.0	9.97	1,551.5	0.4890	76.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,748.5		⑮ 141.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,171.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	6,171.0			0.4000	2.5
合　計									⑯ 4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
				CB11	予熱・予冷時の外気導入の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。①待機電力を削減する。（特に長期休業中は、パソコン・テレビ等のコンセントを抜く。）②間引き点灯を実施する。日照が確保でき、照度が十分であれば、消灯するか一部消灯を行う。③冷房設定温度を28度にする。④こまめな消灯を心がける。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	町田第二中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 4 9
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 1　区市町村名 東京都町田市 町名番地以下 南大谷1327
事業所等の延床面積	7,807.76 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 103	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 197	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 198	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 25.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	38,984.2	45.00	1,754.3	0.0136	87.5
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	224,895.0	9.97	2,242.2	0.4890	110.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,997.2		⑮ 197.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,965.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	2,965.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB13	中間期における外気冷房の実施
				CB31	水栓器具近傍に節水表示
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。2010年度からエネルギー使用の管理を始めました。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等の電源を落とす）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	町田第二小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 5 0
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 1 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　原町田4－26－40
事業所等の延床面積	5,602.84 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 71	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 143	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 148	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 25.5	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	12,571.6	50.80	638.6	0.0161	37.7
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	215,512.0	9.97	2,148.7	0.4890	105.4
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,787.3		⑮ 143.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,257.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	8,257.0			0.4000	3.3
合　計									⑯ 5.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A208	組織横断的な推進体制の整備
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB28	利用状況に応じた空調の設定変更
				CB35	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	町田第五小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 5 1
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 4 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　玉川学園4－14－7
事業所等の延床面積	6,504.85 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 78	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 150	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 154	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 23.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	29,647.3	45.00	1,334.1	0.0136	66.5
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	82.0	36.70	3.0	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	171,633.0	9.97	1,711.2	0.4890	83.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,048.3		⑮ 150.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,876.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,876.0			0.4000	2.8
合　計									⑯ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	町田第六小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 5 2
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 1　区市町村名 東京都町田市 町名番地以下 南大谷1260
事業所等の延床面積	6,900.86 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 73	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 145	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 148	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 21.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	9,002.5	45.00	405.1	0.0136	20.2
	その他（ガソリン）		□	L	34.0	34.60	1.2	0.0183	0.1
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	9,354.4	50.80	475.2	0.0161	28.1
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	198,449.0	9.97	1,978.5	0.4890	97.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,860.0		⑮ 145.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,435.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,435.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A204	取組状況の点検体制の構築	A212	温暖化対策提案制度の導入
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	町田第四小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 5 3
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 0 0 2 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　森野2－21－28
事業所等の延床面積	6,701.57 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 80	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 158	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 162	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 23.5	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	16,662.2	45.00	749.8	0.0136	37.4
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	72.0	36.70	2.6	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	9,956.8	50.80	505.8	0.0161	29.9
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	186,754.0	9.97	1,861.9	0.4890	91.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,120.2		⑮ 158.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,302.0			0.2660	1.7
	公共下水道		□	m^3	6,302.0			0.4000	2.5
合　計									⑯ 4.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB02	照明スイッチに点灯範囲を表示
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	相原小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 5 4
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 2 1 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　相原町1673
事業所等の延床面積	6,772.12 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 133	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 137	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 19.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	420.0	36.70	15.4	0.0185	1.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	11,989.1	50.80	609.0	0.0161	36.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	196,409.0	9.97	1,958.2	0.4890	96.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,583.3		⑮ 133.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,830.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,830.0			0.4000	2.7
合　計									⑯ 4.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A216	所内会議・研修会等で報告
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
				CB02	照明スイッチに点灯範囲を表示
				CB05	昼休み時の消灯の実施
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	真光寺中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 5 5
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ー 0 0 5 7　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　真光寺3－8－1
事業所等の延床面積	7,504.14 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 43	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 84	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 11.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	7,834.7	45.00	352.6	0.0136	17.6
	その他（ガソリン）		□	L	44.0	34.60	1.5	0.0183	0.1
	その他（灯油）		□	L	230.0	36.70	8.4	0.0185	0.6
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	133,433.0	9.97	1,330.3	0.4890	65.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,692.9		⑮ 83.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,072.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,072.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A204	取組状況の点検体制の構築	A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	薬師中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 5 6
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 7 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　金井1－20－1
事業所等の延床面積	7,353.58 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 67	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 128	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 129	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 17.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	20,791.8	45.00	935.6	0.0136	46.7
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	167,873.0	9.97	1,673.7	0.4890	82.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,609.3		⑮ 128.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,961.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	2,961.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	藤の台小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 5 7
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 7 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　金井町3040－15
事業所等の延床面積	8,741.69 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 94	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 180	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 185	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 20.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	25,284.8	45.00	1,137.8	0.0136	56.7
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	77.0	36.70	2.8	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	252,953.0	9.97	2,521.9	0.4890	123.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,663.3		⑮ 180.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,274.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	8,274.0			0.4000	3.3
合　計									⑯ 5.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	金井中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 5 8
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ー 0 0 7 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　金井6－15－1
事業所等の延床面積	7,070.63 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 47	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 90	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 91	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 12.7	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	8,796.6	45.00	395.8	0.0136	19.7
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	158.0	36.70	5.8	0.0185	0.4
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	421.4	50.80	21.4	0.0161	1.3
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	141,367.0	9.97	1,409.4	0.4890	69.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,832.5		⑮ 90.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,098.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,098.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB05	昼休み時の消灯の実施
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
				CB14	冷風と温風の混合損失の防止
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	金井小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 5 9
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 7 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　金井町2612－183
事業所等の延床面積	6,659.85 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 71	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 136	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 140	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 20.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,918.9	45.00	626.3	0.0136	31.2
	その他（ガソリン）		□	L	14.5	34.60	0.5	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	511.0	36.70	18.8	0.0185	1.3
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	212,951.0	9.97	2,123.1	0.4890	104.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,768.7		⑮ 136.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,484.0			0.2660	1.7
	公共下水道		□	m^3	6,484.0			0.4000	2.6
合　計									⑯ 4.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E136	デマンドコントローラの設置
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）		
		E114	高効率パッケージの採用		
		E123	トップランナー機器の採用		

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	高ヶ坂小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 6 0
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 0 0 1 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　高ヶ坂6－7－1
事業所等の延床面積	5,675.31 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 69	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 138	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 141	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 24.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	7,495.4	45.00	337.3	0.0136	16.8
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	12,879.0	50.80	654.3	0.0161	38.6
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	168,860.0	9.97	1,683.5	0.4890	82.6
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,675.8		⑮ 138.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,402.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,402.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB35	冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定
				CB43	操業状態に応じた運転・停止
				CB46	受電力率の把握・記録
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	鶴川中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 6 1
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 6 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　小野路町1905－1
事業所等の延床面積	13,737.84 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 249	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 478	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 6	t
	総　計（④=②+③）	④ 484	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 34.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	98,083.6	45.00	4,413.8	0.0136	220.1
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	72.0	36.70	2.6	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	528,162.0	9.97	5,265.8	0.4890	258.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,682.9		⑮ 478.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,808.0			0.2660	2.3
	公共下水道		□	m^3	9,505.0			0.4000	3.8
合　計									⑯ 6.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A204	取組状況の点検体制の構築	A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB20	照明下の障害物を定期的に整理
				CB22	営業前後の客室不要照明の停止
				CB41	温湿度の適正管理
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
				CB50	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	鶴川第一小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 6 2
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 6 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　野津田町1290
事業所等の延床面積	6,254.28 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 114	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 219	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 222	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 35.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	48,711.7	45.00	2,192.0	0.0136	109.3
	その他（ガソリン）		□	L	10.0	34.60	0.3	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	225,089.0	9.97	2,244.1	0.4890	110.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,436.5		⑮ 219.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,546.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	6,184.0			0.4000	2.5
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB20	照明下の障害物を定期的に整理
				CB41	温湿度の適正管理
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。廊下の電気は、設置されている照明が二つのスイッチで交互の並びで点灯できるので、掃除以外通常は半分の照明で対応し、授業中などはこまめに消す。トイレは全て自動点灯なので無駄な使用はない。放課後の廊下の照明が付けっぱなしにならないようにしたり、帰宅時必ず共用パソコンの電源の落とし忘れがないようにしたりする。職員室に戻る際職員が必ず消すよう意識を高めていく。太陽光ソーラーパネルによる発電量モニターを常時付けて、児童の意識も高めていく。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	鶴川第三小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 6 3
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 6 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　鶴川6－5
事業所等の延床面積	8,144.58 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 126	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 130	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 15.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,074.0	45.00	588.3	0.0136	29.3
	その他（ガソリン）		□	L	40.0	34.60	1.4	0.0183	0.1
	その他（灯油）		□	L	200.0	36.70	7.3	0.0185	0.5
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	197,926.0	9.97	1,973.3	0.4890	96.8
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,570.4		⑮ 126.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,024.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	6,024.0			0.4000	2.4
合　計									⑯ 4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A209	都などの無料の相談機関の利用
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB05	昼休み時の消灯の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	鶴川第二中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 6 4
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 6 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　鶴川6－4
事業所等の延床面積	8,694.47 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 61	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 117	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 119	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 13.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	11,786.4	45.00	530.4	0.0136	26.4
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	70.0	36.70	2.6	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	186,646.0	9.97	1,860.9	0.4890	91.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,393.8		⑮ 117.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,384.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,384.0			0.4000	1.4
合　計									⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A207	排出状況の整理・分析・提供
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	鶴川第二小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 6 5
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 5 3　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　能ヶ谷7－24－1
事業所等の延床面積	7,531.09 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 92	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 177	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 182	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 23.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	30,237.0	45.00	1,360.7	0.0136	67.9
	その他（ガソリン）		□	L	60.0	34.60	2.1	0.0183	0.1
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	223,930.0	9.97	2,232.6	0.4890	109.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,595.3		⑮ 177.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,079.0			0.2660	2.1
	公共下水道		□	m^3	8,079.0			0.4000	3.2
合　計									⑯ 5.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				CB31	水栓器具近傍に節水表示
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■	有	□	無

目標値等（選択）						
	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。冷房設定温度を28度にする。廊下の蛍光灯を50％間引き、日中は、消灯を基本とする。退勤時にはPCの電源をシャットダウンする。教室、職員室の窓にはカーテンを引き、照度が保たれているときには、校庭側を消灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	鶴川第四小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 6 6
事業所等の所在地	〒 1 9 5 ― 0 0 6 1　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　鶴川3－22
事業所等の延床面積	8,006.04 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 90	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 172	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 7	t
	総　計（④=②+③）	④ 179	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 21.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	18,813.0	45.00	846.6	0.0136	42.2
	その他（ガソリン）		□	L	17.0	34.60	0.6	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	200.0	36.70	7.3	0.0185	0.5
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	264,625.0	9.97	2,638.3	0.4890	129.4
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,492.8		⑮ 172.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,496.0			0.2660	3.1
	公共下水道		□	m^3	11,492.0			0.4000	4.6
合　計									⑯ 7.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB28	利用状況に応じた空調の設定変更
				CB31	水栓器具近傍に節水表示
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。①待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。②放課後等、児童帰宅後は、職員の事務作業等は極力職員室で集中して行う。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	鶴間小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 6 7
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 0 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　鶴間4－17－1
事業所等の延床面積	6,353.14 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 68	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 130	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 134	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 20.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	12,010.7	45.00	540.5	0.0136	27.0
	その他（ガソリン）		□	L	45.0	34.60	1.6	0.0183	0.1
	その他（灯油）		□	L	107.0	36.70	3.9	0.0185	0.3
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	211,527.0	9.97	2,108.9	0.4890	103.4
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,654.9		⑮ 130.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,855.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,855.0			0.4000	2.7
合　計									⑯ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB07	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	CB08	温度計等による室温の把握と調整
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
				CB11	予熱・予冷時の外気導入の停止
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。待機電力の削減に努める。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	本町田小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 4 2
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 2　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　本町田2032
事業所等の延床面積	8,226.37 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 111	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 214	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 218	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 26.0	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	32,502.8	45.00	1,462.6	0.0136	72.9
	その他（ガソリン）		□	L	20.0	34.60	0.7	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	125.1	50.80	6.4	0.0161	0.4
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	287,739.0	9.97	2,868.8	0.4890	140.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,338.4		⑮ 214.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,658.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	7,519.0			0.4000	3.0
合　計									⑯ 4.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB08	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	小山中央小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 6 9
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 0 2 1 5　区市町村名 東京都町田市 町名番地以下 小山ヶ丘3－7－1
事業所等の延床面積	11,394.16 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 137	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 262	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 266	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 22.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	24,137.4	45.00	1,086.2	0.0136	54.2
	その他（ガソリン）		□	L	14.5	34.60	0.5	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	80.0	36.70	2.9	0.0185	0.2
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	424,704.0	9.97	4,234.3	0.4890	207.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,323.9		⑮ 262.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,086.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	8,321.0			0.4000	3.3
合　計									⑯ 4.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB08	温度計等による室温の把握と調整
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB15	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	小山田南小学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 2 8
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 2 0 4　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　小山田桜台2－7
事業所等の延床面積	8,265.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 76	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 146	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 151	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 17.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	14,612.0	45.00	657.5	0.0136	32.8
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	232,110.0	9.97	2,314.1	0.4890	113.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,971.7		⑮ 146.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,760.0			0.2660	2.1
	公共下水道		□	m^3	7,760.0			0.4000	3.1
合　計									⑯ 5.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		CB04	採光を利用した消灯の実施	C129	季節に応じた温度設定の見直し
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB05	昼休み時の消灯の実施
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E126	窓際照明の連続調光制御
				E136	デマンドコントローラの設置

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。2009年4月から2010年3月の間に条例に基づき実施した対策はなく、2010年度からエネルギー使用の管理を始めました。・待機電力を削減する（特に夏休み中はパソコン、テレビ等のプラグをコンセントから抜く）・間引き点灯：教室、体育館等の点灯については、日照が確保でき照度が充分であれば、消灯するか又は一部のみ点灯する。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	小山中学校
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 7 0
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 0 2 1 5　区市町村名 東京都町田市 町名番地以下 小山ヶ丘1－2－4
事業所等の延床面積	11,832.36 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 1 3 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 121	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 231	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 234	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 19.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	88.9	45.00	4.0	0.0136	0.2
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	130.0	36.70	4.8	0.0185	0.3
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	473,290.0	9.97	4,718.7	0.4890	231.4
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,727.5		⑮ 232.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,458.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,847.0			0.4000	1.9
合　計									⑯ 3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A204	取組状況の点検体制の構築	A214	温暖化対策優良事例の情報収集
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C114	事務用機器を省エネモードに設定	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		CB37	4S（整理・整頓等）の実施	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
				CB02	照明スイッチに点灯範囲を表示
				CB50	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策			D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E136	デマンドコントローラの設置
				E141	太陽光発電設備の導入

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	教育センター
事業所番号	A 0 9 5 2 ― 0 0 6 8
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ― 0 0 3 6　区市町村名 東京都町田市 町名番地以下 木曽東3－1－3
事業所等の延床面積	6,453.97 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 43	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 83	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 12.8	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	5,005.3	45.00	225.2	0.0136	11.2
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	146,921.0	9.97	1,464.8	0.4890	71.8
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,690.0		⑮ 83.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,147.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,147.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A208	組織横断的な推進体制の整備
				A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	CB05	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB07	空調機スイッチに空調範囲を表示
		CB04	採光を利用した消灯の実施	CB09	空室・不在時等の空調停止
				CB12	季節に応じた外気導入量の適正化
				CB16	自動販売機の休日・夜間照明停止
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
				CB50	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。昼休みなどは完全消灯を心掛ける。空調利用時は温度設定を28度以下にしない。デスクトップパソコンのモニター電源はこまめに切る。クールビズ対策の徹底をする。

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	市庁舎
事業所番号	A 0 9 5 2 ー 0 0 7 2
事業所等の所在地	〒 1 9 4 ー 8 5 2 0　区市町村名　東京都町田市 町名番地以下　森野2-2-22
事業所等の延床面積	4,578.92 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2021年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 100	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 190	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 191	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 41.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	9,566.7	45.00	430.5	0.0136	21.5
	その他（ガソリン）		□	L	0.0	34.60	0.0	0.0183	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（軽油）		□	L	0.0	37.70	0.0	0.0187	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	346,623.6	9.97	3,455.8	0.4890	169.5
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,886.3		⑮ 191.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,846.2			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	2,526.1			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A205	取組内容や点検体制の定期的改善
				A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E134	駐車場CO等濃度制御の導入
				E140	BEMSの導入

実績年度の目標達成の状況	□	目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

各市立小・中学校においては、町田市として定める環境配慮行動計画における環境目標（エネルギー使用量削減の年度目標）をふまえ、節電行動計画の作成、空調設備の環境に配慮した運用基準の遵守等、省エネの推進に努めている。廊下ダウンライトのLED化と遮熱フィルムの施工を進めている。